

児童発達支援自己評価表(職員)

令和1(平成31)年度 回収率:100%

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1	0	粗大運動を行なう際には狭さが感じられるが、その他の点では適切である。活動内容やお子さんの様子に合わせてスペースをどのように使用するかを日頃から考え、工夫をするよう努めている。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	3	0	法令に準じた人員配置ではあるが、担当制を取っていることから配置が難しくなりやすい。また、担当制を取ることで、業務過多が生じやすいため、質の確保を行いつつ、業務のシステム化や効率化などを通して改善していけるよう努める。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	1	0	構造化された環境を提供できるよう、振り返りや反省を通して改善に努めている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	0	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	2	0	業務改善に向けた話し合いや振り返りは行っているが不定期となりやすいため、定期的に行えるよう引き続き取り組んでいく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	4	0	0	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	0	外部委託によるコンサルテーションを定期的に受け、業務改善に繋げているが、一部の業務の評価であるため、現在検討中である。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	0	0	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	0	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	0	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	0	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2	0	プログラムの主な立案者は活動担当職員が行っているが、日々のミーティングを通して話し合いながら進めている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	4	0	0	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4	0	0	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	
⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0		

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	0	0	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保険、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当施設ではないため、回答を行わなかった。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当施設ではないため、回答を行わなかった。
	㉔	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	2	0	保育所や幼稚園へ移行するケースがあったが、園との連携が元々少ないことなどから、移行前の段階での情報共有や相互理解を行なう機会を持つことが難しかった。今後は相談支援事業所と協力しながら携わっていけるよう努めていく。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	2	1	就学支援シートの活用は行なっているが、あくまでも情報を記入するのみのため、相互理解の段階までは辿り着けていない。このため、まずは学校との繋がりを作っていける機会が得られるよう地域の事業所連絡会を通しながら、取り組みを試み始めたところである。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	0	地域の児童発達支援事業所や放課後等デイサービスとの連絡会が定期的にあるため、少しずつ連携が行えるようになってきている。地域に児童発達支援センターなどが無いため、専門的な助言は外部委託の臨床発達心理士、作業療法士のみからとはなるが、研修については参加の機会を得ている。
	㉗	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	0	0	昨年12月に、法人内の保育園園庭に遊びに行く活動を企画した。今回初めての取り組みであったため、園庭遊びのみとしたが、今後は交流の機会に繋げていけるよう努める。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	2	1	自立支援協議会などへの参加は行えていないが、関係機関の連絡会は定期的に参加しており、情報共有や情報交換、意見交換、地域の課題についての話し合いなどを行なっている。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	2	0	プログラムは行なっていないが、支援終了後の報告時間や面談を活用しながら、お子さんへの対応方法などの助言を行なっている。

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	
	㉑	児童発達支援がドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	0	0	
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	0	父母会や保護者会などは開催していないが、保護者の方同士が交流の機会を持てるよう現在進めているところである。
	㉔	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	2	0	活動などに関する事柄はブログを活用し、連絡やお知らせなどは書面やメールなどを使用しながら発信している。
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	0	0	個人情報の取り扱いには十分注意をしているが、保護者の方からのご指摘も参考にさせて頂きながら、今後も取り扱いについて細心の注意を払いながら取り組んでいく。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1	0	お子さんの様子や保護者の方の状況に合わせて、意思疎通や伝達方法を選び対応している。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	3	1	小規模施設のため、地域に向けた行事等は行なっていないが、近隣住民の方々とは挨拶等を行なうよう心がけ、少しずつお互いの顔が分るようになってきている。
	非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	0	1
㉚		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1	0	訓練に参加するお子さんが全員では無いため、全員が参加していけるよう検討中である。
㉛		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	4	0	0	
㉜		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	1	医師の指示書が必要なまでのアレルギーを持つお子さんがいないが、その他のケースについては、保護者の方と確認を取り合いながら対応を行っている。
㉝		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	
㉞		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	0	1	研修の機会を確保できるよう対応している。
㉟		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	0	1	現在、身体拘束が必要なケースが無いが、ある場合には、組織的な決定、保護者の方への事前説明、支援計画への記載を行う予定である。